

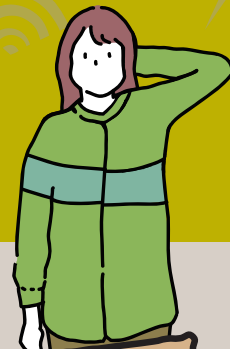
IID インストラクショナル デザイン eラーニング 講座

入門



目標

- あいまいな学習目標を3つの基準で考え明確にすることができる。
- 課題分析を行う手順と分析の種類を覚えて、学習課題の領域に適切な分析手法を選ぶことができる。
- 課題分析からシラバスを作成する手順を説明することができる。
- 学習者を評価するツールを複数挙げるができる。
- コマシラバスをガニエの9教授事象の考え方で作成するという手順を説明することができる。
- 学習者の習得程度によって教育の評価を行うという手順を説明できる。
- インストラクショナルデザインの考え方で改善されたコマシラバスと改善前のコマシラバスを比較して、どこが改善されたか挙げるができる。



インストラクショナルデザインとは？
学習者に最適な効果をもたらすための教育方法のことです。
日本では、教育設計と訳されます。
インストラクショナルデザインは教育工学や心理学などを融合させたアプローチのため、
コロナ禍で急速に進んだオンライン授業にも適しています。
全専研が開発した研修プログラム、今一度貴校での
ご活用を検討されてみてはいかがでしょうか。

受講料

全専研会員校の方

2,000円 (税込)

会員校でない方 3,500円 (税込)

想定学習時間

5時間

受講可能期間 毎月21日～翌月20日



申込方法・講座の詳細は、こちらから！

全国専門学校教育研究会 WEBサイト
インストラクショナルデザイン入門 eラーニング講座
<http://www.zsenken.or.jp/form-el/>



全専研会員校の

取り組み

事例

学校法人 麻生塾さま

例年新任教員研修の中でインストラクショナルデザインの内容の一部を取り入れ、その上で、4月中にインストラクショナルデザイン入門 eラーニング講座の受講案内を実施、夏期休暇の前に再度受講を促している。

学校法人 KBC学園さま

平成 27 年から毎年インストラクショナルデザインの対面での研修を実施。その事前学習として講座を受講。

専門学校 YIC グループさま

全専研が文部科学省の委託事業としてインストラクショナルデザインの研修プログラムを開発後、その中の入門編として 5 時間程度の学習内容にて、アニメ風の eラーニング教材を新任教員のみなさんに提供している。専門学校の教員は、教育についての知見のない各専門分野の実務経験者が大半のため、基礎的な用語と学習者主体の授業計画の立て方を知ることが必要。インストラクショナルデザインの考え方を修得することにより、授業計画を立てる上での考え方や目標設定などを理解して取り組むことが出来ている。

私が本講座を受講したのは、完全なる未経験の教務として教壇に立つ準備をしている頃でした。まだ本番の授業をしたことのない私にとって、自分の進むべき方向性と必要な準備を知ることが出来たことは大きな収穫でした。さらに、その後実際にシラバスを作成し、教壇に立つて授業をやってみると、本講座で教わった内容に色がついたようにその意味や大切さが分かるようになってきました。「教える」ということを科学的・学問的アプローチで教わった経験は、自分なりの授業を行っていくための「土台作り」にとっても役立っている実感しております。

麻生公務員専門学校 福岡校 Aさん



専門学校の新任教員の主人公が、授業設計について四苦八苦するストーリーが、私自身と被りとても親近感を持つことができました。授業設計・開発の手順を各要素を分類し体系的に学ぶことができ、さらに具体例が豊富でとても分かりやすい講座でした。後続の研修も、ステップアップのためにぜひ受講したいと思っています。

YIC情報ビジネス専門学校 Sさん



受講者の声

ほとんど知識が無い中での受講でしたが、「インストラクショナルデザイン概要」から「目標設定」、「授業の評価」等、知識があまりない人でも分かりやすいように資料の説明がありましたので理解を深めることができました。資料の説明だけでなく、アニメ風の動画があったのも良かったです。また、動画の主人公が「専門学校の新任教師、情報系の授業を教えている。」という設定であり、私と境遇が同じでしたので、より理解を深めることができました。

YIC情報ビジネス専門学校 Jさん



本講座で学んだ「学習目標を明確にすること」は、今までの学習目標では「理解する」等で作成してきたので、目から鱗でした。「学習目標を明確化するポイント」に沿って作っていくとかなりわかりやすい目標を作ることが出来てきました。研修を通してシラバス作成についての自信もついたので、早速取り入れていきます。

KBC学園 Aさん



私は前職が設計士として建物の設計していたため、「教育」に関しては全くの未経験でした。そのため、教育業界での業務は想像することさえ難しいものでした。今までは授業を受ける側でしたが、いざ授業をする側になると何から手を付けていいのか、教育業界独自の必要なスキルとはどういったものがあるのかなど、未知の世界で分からないことだらけでした。入社直後に本講座にて学習することによって、授業をする上で必要なシラバスの作り方や授業の目標設定の方法などを一通り学ぶことができ、授業を受け持つ前に教育に関しての業務イメージを得ることができました。

麻生建築&デザイン専門学校 Sさん



「テストは最初に作る」ということが一番印象に残っています。今まで学んだ確認なので実際に授業をした部分でテストを作成していたのですが、それだとテストの結果で自分自身の授業が適切なものであったかどうかは測れないということが初めてわかりました。

KBC学園 Bさん



申込方法・講座の詳細は、こちらから！

全国専門学校教育研究会 WEBサイト
インストラクショナルデザイン入門 eラーニング講座
<http://www.zsenken.or.jp/form-el/>